

令和5年度山武健康福祉センター運営協議会議 質疑応答要旨

【事前質問回答】

(事務局)

事前質問は2問いただいております。

まず1問目ですが、山武郡市内の貧困家庭の実態ということで、7人に1人が貧困家庭と言われているが周りを見てもあまり実感がなく、詳細を教えて欲しいとの御質問をいただきました。

回答ですが、厚生労働省が行っている国民生活基礎調査の2022年の結果によると、相対的貧困率は15.4%で、6.5人に1人。子供の貧困率は、11.5%で8.6人に1人となっております。

貧困家庭に限定するものではありませんが、当センターでは、生活困窮者自立支援法に基づき、三町に居住する生活困窮者への支援を特定非営利活動法人リンクに委託して行っており、令和4年度の実績は事業年報の91ページに記載のとおりであり、182件の新規相談を受け付けました。

支援メニューについては、住居を確保する際の給付金の給付や家計改善支援、就労支援等が利用されており、支援の結果、49の方が増収となりました。今後も生活困窮者の支援に取り組んで参ります。

次に2問目ですが、子供食堂の実態はということで、山武郡市内で何ヶ所くらいの子供食堂があるのか、またこれから増やすための施策をするのかという御質問をいただいております。

回答になりますが、子供食堂については、健康福祉部児童家庭課が所管しております。同課のホームページによりますと、令和5年10月17日現在で、県全体では247ヶ所、山武郡市内では大網白里市に2ヶ所あるとのことですが、こちらのデータは全てを反映しているものではなく、その実態は正確ではありません。

なお、今後、子供食堂に関し、衛生管理等について相談があった場合には、適切に指導して参ります。

また、県児童家庭課では、エネルギー食料品価格の高騰を受けながらも、生活に困窮する家庭等の支援に取り組んでいる子供食堂の運営団体等の活動を支援するため、1件当たり10万円の給付金を支給することとしており、明日、10月31日まで申請を受け付けています。以上です。

【質疑応答】

○ 質問1

(A 委員)

こどもの貧困率に小中学生は入るのか。

(事務局)

子供の貧困率は、17歳以下の割合ということになっております。

(B 委員)

貧困の原因にどのようなものであって、それをどうやって是正していくかということが根本的な解

決につながると思う。

○ 質問2

(C 委員)

令和4年度事業年報の中で、令和3年度と4年度で生活保護費が7、800万減っている原因はなぜか。

(事務局)

保護費の総額が減少になった理由は分かっておりません。

保護の人員は、4年度については若干増員傾向ではあるが、人が増えても収入があれば保護費そのものは上がらないため、数と金額がそのままリンクするというものではありません。

○ 質問3

(D 委員)

令和4年度事業年報36ページの地域防災対策のところ、備蓄医薬品の内容を知りたい。また、保管場所はどこか。

(事務局)

保健所で保管しております。医薬品の内容は、普通の解熱剤等になります。

(D 委員)

それを千人分備蓄しているのか。

(事務局)

そのとおりです。2セットで千人分ということになります。

(D 委員)

千葉県の保健所は、全ての保健所で備蓄しているのか。

(事務局)

はい。全ての保健所にあると聞いております。

(D 委員)

使用期限があると思うが、更新の頻度はどのくらいか。

(事務局)

毎年、使用期限を迎えるものを更新しております。

○ 質問4

(D 委員)

48 ページのがん検診推進員育成講習会はいつから始まった講習会か。

(事務局)

ご質問ありがとうございます。いつから始まったかはこの場でお答えできませんが、毎年、印旛健康福祉センターと交代で開催しております。